UP DATE

■ JSTT第6回通常総会の開催

6月17日（火）15時よりホテルルポール麹町（東京都千代田区平河町）にて，一般社団法人日本非開削技術協会の第6回通常総会を開催し，①平成25年度事業報告，収支決算，②役員の辞任に伴う後任役員の選任の2議案を審議し，可決した。正会員の出席率は76％であった。

また総会終了後，建設ITジャーナリスト家入龍太様による「ロボット，ネットワーク，3D技術の導入で社会インフラの維持管理業務は激変する」と題して講演が行われた。ITを駆使した将来の姿を垣間見る講演でした。

■ JSTTの委員会活動

（1）機関誌「No-Dig Today」編集委員会，編集企画小委員会

【編集委員会】

4月11日（金）に第89回編集委員会を開催し，4月1日発行の機関誌「No-Dig Today」87号の記事・構成内容などを審議しました。また，送呈先について議論し，平成16年のアンケート結果から国土交通省関連の道路関係の部署である国道事務所（約186事業所）については見直すこととした。また，機関誌の有料購読の増加や非開削技術のPRとしてコンサルタント会社や大学生への配付を検討することとしました。

【編集企画小委員会】

4月11日（金）に第107回編集企画小委員会を開催し，4月1日発行の機関誌「No-Dig Today」87号の内容の説明と7月1日発行の機関誌「No-Dig Today」88号の特集【地上からの調査・探査・診断技術】の執筆依頼先候補について話し合うとともに6月17日（火）の第6回通常総会の写真速報として掲載することとしました。機関誌の配付先の検討ではアンケート結果からPR効果を高めるため国道事務所を止め，コンサルタントや大学に配布することを編集委員会に提案することとしました。

6月2日（月）に第108回編集企画小委員会を開催しました。機関誌「No-Dig Today」88号の特集【地上からの調査・探査・診断技術】についての入稿状況について確認するとともにポーランドと中国での国際会議の報告や国内イベント情報の報告を掲載することとしました。また，2014年10月1日発行の機関誌「No-Dig Today」89号の特集【大中口径管路の修繕・更生技術】に掲載する候補技術や執筆していただきたい技術の特長，執筆依頼先などを審議しました。また，機関誌の配付先の検討として下水道に関連したコンサルタント会社や大学について調査することと7月1日発行の機関誌「No-Dig Today」88号の一部を大阪で開催される下水道展でPRとして配付する方向で関係方面と調整することとしました。

また，海外の非開削事情や新技術等の記事についても情報を集め，掲載する方向で検討を進めることとしました。

（2）地下探査技術委員会

4月18日（金）に第15回地下探査委員会を開催しました。今年度発行予定の「地下探査技術　適用マニュアル」について前回までの整理事項についてさらなる意見を交わしました。本日の委員会で提起された見直し・修正箇所，補充・補強箇所，用語の定義などについて今日の議論を通じて，各自の分担を整理し5月30日までに事務局に報告することとしました。

（3）技術委員会

4月24日（木）に第78回技術委員会を開催しました。第21回非開削技術講演会の日程は7月15日（火）で場所は例年と同じく虎ノ門の発明会館ホールとし，講演は午後1時30分から開催することとしました。また，技術講演会のテーマは，一昨年12月2日に発生した中央道笹子トンネル崩落事故や下水道に起因した道路陥没事故の増加などにより，インフラとしての「下水道設備」のあり方が議論されていることから「大更新時代と非開削」とし，国土交通省の取り組みや昨年決定した2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた東京都下水道の取り組みなどについて知見を深めるよう講師をお願いすることとしました。

JSTT非開削技術見学会は，7月9日（水）東京多摩日ノ出町で住友スリーエム㈱様による樹脂ライニング工法による工事が提案され承認されました。

そのほか，平成25年11月27日（火）に行われた第24回非開削技術研究発表会，平成26年2月3日（月）に行われた非開削技術見学会，関連委員会の活動について報告がありました。さらに，今月号でも紹介しておりますが4月8日～10日の三日間ポーランドのキェルツェで行われた国際会議や4月18日から3日間中国広東省東莞で行われたCSTT非開削会議への参加の報告がありました。

（4）HDD（誘導式水平ドリル）工法委員会

5月13日（火）第57回HDD（誘導式水平ドリル）工法委員会を開催し，水平ドリル工法の普及・展開の取り組みについて話し合いました。具体的には①周辺社会に負荷や迷惑をかけない非開削のメリットを自治体等にアピールする②昨年度作成したHDD（誘導式水平ドリル）工法リーフレットの配布（機関誌「No-Dig Today」に同梱や下水道展での配付）③HDD（誘導式水平ドリル）工法技術講演会を今後も取り組む④長距離施工の基準書を作成するなどの提案が行われ，当面今後は施工延長の基準書作成に取り組むこととしました。

（5）工法ナビゲーションシステム運営委員会

5月21日（水）第48回工法ナビゲーションシステム運営委員会を開催しました。本システムの利用回数が順調に増加していることが報告されました。工法ナビゲーションシステムホームページのリニューアルとして前回に引き続き㈶日本推進技術協会の変更に合わせた見直しについて話し合いました。ホームページ内の重複個所を見直すとともに，プルダウンなどを使い全体が一元的に見えるような工夫が採用されました。また，日進量の記載についてコンサルタント会社委員などとの意見を踏まえ調整することとしました。

（6）ソーシャルコスト検討委員会

ソーシャルコスト検討委員会では交通シミュレーションソフトを使い，工事形態による交通への影響について精査・分析に鋭意取り組んでいる。具体的には今秋を目途に開削工事と非開削工事の社会的コストの定量化について一定の評価を報告する計画です。

HDD（誘導式水平ドリル）工法「施工事例集」（平成25年度版）

最新刊発行

HDD（誘導式水平ドリル）工法は、ガスや上下水道、電力ケーブル、光ファイバーケーブルなどの埋設管路に最適な工法です。埋設する管種もポリエチレン管、鋼管、ライニング鋼管など多種多様で、様々な用途に適用が可能です。

この施工事例集は、長距離・曲線・道路縦断占用・S字カーブなどの施工データを掲載することにより、HDD工法の施工を具体的にイメージできるように纏め、発刊いたしましたのでご活用ください。

編集・監修・発行：JSTT　一般社団法人 日本非開削技術協会
体　裁：A4判　100ページ
定　価：書籍版　JSTT会員：本体価格　700円（税込・送料別）
非　会　員：本体価格 1,000円（税込・送料別）
PDF版　JSTT会員：本体価格　400円（税込・送料別）
非　会　員：本体価格　600円（税込・送料別）